

『ある』

令和4年9月8日(木)

校長 南波 聡

島原市中心部にある花屋さんを訪れた。その花さんはアーケード内に連なる商店街の一角にあった。シャッターを閉じたままの商店がちらほらある中、そのお店のスペースには華やいた気が流れ輝いて見えた。駐車スペースがわからずおろおろしている私に気づいたのだろう、素敵な笑顔の店員さんが現れ、丁寧に案内していただいた。

川棚町の中心街。幹線道路の両側に沿って商店が並んでいる。ここもシャッターが閉じられた店舗が少しずつ増えている。そのお菓子屋さんは商店街の端に少し奥まって佇んでいた。コロナの前は店に入るとお茶とお菓子のサービスがあり、3台ほどの駐車スペースはいつも満車。コロナ対策でサービスが中断されているのは少し残念だが、店員さんの笑顔と丁寧な接客は変わらずお客さんが絶えない。

波佐見町内の幹線道路を有田方面に走ると交差点の角に和菓子屋さんがある。偶然立ち寄った私にも親しみを感じる笑顔と丁寧なサービスに一気にファンになった。同じくランチを目当てに偶然立ち寄った近くのお寿司屋さんでも、とびっきりの笑顔で迎えてくれた。カウンターにある小さな置物に「笑う門には福来たる」と書かれているとおり、このお店には福が溢れている。

笑顔は『ある』がいい!